

2020年度
(令和2年度)
動物実験に関する自己点検・評価報告書

岡山理科大学

2021年7月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料
<ul style="list-style-type: none"> ・ 岡山理科大学における動物実験等に関する取扱規程 ・ 岡山理科大学全学動物実験管理委員会規程 ・ 岡山理科大学岡山キャンパスにおける動物実験管理部会に関する細則 ・ 岡山理科大学今治キャンパスにおける動物実験管理部会に関する細則 ・ 岡山理科大学今治キャンパスにおける動物実験等に関する取扱細則
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
<p>研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（文科省）、実験の適正な実施に向けたガイドライン（日本学術会議）、実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（環境省）との整合性を確認し、さらに、国立大学動物実験施設協議会の機関内規程ひな形（最新版）との照合照作業を行い、必要な加筆修正を行った。また、獣医学部（今治キャンパス）が目指すAAALAC認証取得に向けて、ILARガイド（米国指針「実験動物の管理と使用に関する指針」）に従った動物実験の運用管理体制を行うための規程類の改正及び岡山理科大学今治キャンパスにおける動物実験等に関する取扱細則を制定した。</p>
4) 改善の方針、達成予定時期
該当しない。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料
<ul style="list-style-type: none"> ・ 岡山理科大学における動物実験等に関する取扱規程 ・ 岡山理科大学全学動物実験管理委員会規程 ・ 岡山理科大学岡山キャンパスにおける動物実験管理部会に関する細則 ・ 岡山理科大学今治キャンパスにおける動物実験管理部会に関する細則 ・ 岡山理科大学今治キャンパスにおける動物実験等に関する取扱細則
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
<p>動物実験委員会が適正に組織され運営されている。</p> <p>全学委員会の構成（2020年度）：教授2名、准教授5名の計7名（動物実験等に関して優れた識見を有する者：4名、実験動物に関して優れた識見を有する者：2名、その他学識経験を有する者：1名）</p> <p>岡山部局委員会（2020年度）：教授2名、特任教授1名、准教授4名、外部委員1名（国立大学教授）の計8名（動物実験等に関して優れた識見を有する者：5名、実験動物に関して優れた識見を有する者：1名、その他学識経験を有する者：2名）</p> <p>今治部局委員会（2020年度）：教授3名、准教授7名、外部委員1名（私立大学理事）の計10名（動物実験等に関して優れた見識を持つ者：4名、実験動物に関して優れた識見を有する者：4名、その他学識経験を有する者：3名）</p>
4) 改善の方針、達成予定時期
該当しない。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果

<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ 岡山理科大学における動物実験等に関する取扱規程 ・ 岡山理科大学今治キャンパスにおける動物実験等に関する取扱細則 ・ 岡山理科大学動物実験計画書 ・ 動物実験結果報告書 ・ 変更追加承認申請書 ・ 動物実験の自己点検票 ・ 実験動物飼養保管状況の自己点検票
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 規程により動物実験の実施体制が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 <ul style="list-style-type: none"> ■ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 □ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 □ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 □ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ 岡山理科大学動物実験計画書 ・ 動物実験結果報告書 ・ 動物実験の自己点検票 ・ 実験動物飼養保管状況の自己点検票 ・ 岡山理科大学における動物実験等に関する取扱規程 ・ 岡山理科大学安全対策マニュアル ・ 岡山理科大学組換え DNA 実験安全管理規程 ・ 岡山理科大学今治キャンパス放射線障害予防規程 ・ 岡山理科大学岡山キャンパス放射線障害予防規程 ・ 岡山理科大学病原体等安全管理規程 ・ 岡山理科大学獣医学部病原体等安全管理細則
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 規程等により安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 <ul style="list-style-type: none"> ■ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ 岡山理科大学における動物実験等に関する取扱規程 ・ 岡山理科大学今治キャンパスにおける動物実験等に関する取扱細則 ・ 飼養保管施設設置承認申請書 ・ 実験室設置承認申請書 ・ 実験動物飼養保管状況の自己点検票

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 取扱規程により飼養保管施設が定められ、管理者及び実験動物管理者が置かれている。さらに、今治キャンパスの施設においては、今治キャンパス取扱細則により管理獣医師が置かれている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。
6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果） 特になし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験委員会（全学および部局委員会）の開催日時および審議・審査内容の記録 全学委員会 会議開催2回、メール審議3回、書面審査（メール）62回 岡山部局委員会 メール審議1回、書面審査8回 今治部局委員会 会議開催・対面審査13回、メール審査3回
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 取扱規程及び委員会規程、部会細則に基づき適正な委員会活動を実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ 岡山理科大学動物実験計画書 ・ 動物実験結果報告書 ・ 動物実験中止・完了報告書 ・ 動物実験管理委員会（管理部会）での審査内容の記録 ・ 動物実験の自己点検票 ・ 実験動物飼養保管状況の自己点検票
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 取扱規程及び取扱細則に基づき動物実験が適正に実施されている。 令和元年度の実験計画承認件数122件（うち実施100件） （岡山キャンパス25件、今治キャンパス97件）
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。

<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ 岡山理科大学動物実験計画書 ・ 動物実験中止・完了報告書 ・ 動物実験の自己点検票 ・ 実験動物飼養保管状況の自己点検票 ・ 動物実験施設設置承認申請書 ・ 実験室設置承認申請書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 安全管理を要する動物実験が適正に実施されている。 対象となる令和元年度の動物実験計画書の審査件数：36件（岡山キャンパス6件：遺伝子組換え動物使用実験4件、感染実験1件、特定外来生物飼養2件、今治キャンパス30件：遺伝子組換え動物使用実験23件、感染実験9件、放射線使用実験3件）
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ 岡山理科大学動物実験計画書 ・ 動物実験の自己点検票 ・ 実験動物飼養保管状況の自己点検票 ・ 動物実験施設設置承認申請書 ・ 実験室設置承認申請書 ・ 動物飼育室の利用マニュアル ・ 緊急時対応マニュアル
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 取扱規程及びマニュアル類により飼養保管が適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ 動物実験施設設置承認申請書 ・ 実験室設置承認申請書 ・ 実験動物飼養保管状況の自己点検票
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 機関内の飼養保管施設は適正に維持管理されている。 承認された飼養保管施設11ヶ所（岡山キャンパス6カ所、今治キャンパス5カ所） 承認された実験室17カ所（岡山キャンパス9カ所、今治キャンパス7カ所）
4) 改善の方針、達成予定時期

該当しない。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
<ul style="list-style-type: none"> ・ 岡山理科大学動物実験講習会実施状況 ・ 岡山理科大学動物実験講習会資料 ・ 実験動物管理者研修会修了証 講習会実施回数：15回（岡山キャンパス：9回、今治キャンパス：6回） 講習会受講者数：431名
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
実験動物管理者や動物実験実施者等に対する教育訓練が適正に実施されている。実験動物管理者の教育訓練受講済（3名）（2019年度研修会、公立私立大学実験動物施設協議会主催）。
4) 改善の方針、達成予定時期
該当しない。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度の動物実験に関する自己点検・評価報告書 ・ 岡山理科大学ホームページ
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
規定に基づき適正な実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期
該当しない。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

実験動物慰霊祭を開催した（岡山キャンパス：2021年2月16日、今治キャンパス：2020年11月27日）

9. 添付資料

2020年度使用頭数	
マウス	5733
ラット	752
モルモット	7
ハムスター	79
スナネズミ	102
ハタネズミ	720
トゲマウス	137
ヌートリア	1
unks	250
イヌ	1
ウシ	4

モグラ類	9
ニワトリ	7
ニワトリ (受精卵)	3386
ウズラ (受精卵)	300
ヘビ	12
ヤモリ	2
*哺乳類・鳥類・爬虫類以外の使用状況：両生類 (9 匹)、魚類 (148 匹)	
2020年度実験動物の飼養状況 (頭数)	
マウス	1125
ラット	164
ハムスター	25
スナネズミ	63
ハタネズミ	220
トゲマウス	25
ヌートリア	5
スンクス	125
ウサギ	5
イヌ	22
ネコ	8
(2021年3月末現在)	